

2020年 4月7日

保護者・関係者各位

NPO法人風の音

理事長	根本 雅子
りぼん・りーふ管理者	石井 泰士
りずむ・りよん管理者	森島 一
グループホーム管理者	三橋 護
放課後等デイ管理者	後藤 なほみ
計画相談管理者	小河原 厚

新型コロナウイルス感染症拡大防止のご協力のお願い3

先般より、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため毎日の検温他感染拡大防止策にご協力いただき、ありがとうございます。

3月11日発行の「お願い2」にもありました、いわゆる3つの条件が同時に重なる場（以下3つの密）※1をできる限り避けるために、以下の参考資料と合わせて引き続き感染リスクの高い場所への出入りを、極力避けるよう重ねてお願いいたします。
また、今後の情勢や監督官庁からの通達により通所制限などの措置を取らざるを得ない状況も考えられますので、引き続きご協力のほどよろしくお願いいたします。

〈参考資料〉 新型コロナウイルス感染症対策専門家会議による

「新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言」（2020年4月1日）より

「IV.提言」

2.行動変容の必要性についてから、 (1)「3つの密」を避けるための取り組みの徹底について（抜粋）

中略

- このため、市民の皆様には、以下のような取り組みを徹底していただく必要がある。
- ・「3つの密」をできる限り避けることは、自身の感染リスクを下げるだけでなく、多くの人々の重症化を食い止め、命を救うことに繋がることについての理解の浸透。
 - ・今一度「3つの密」をできる限り避ける取組の徹底を図る。
 - ・また人混みや近距離での会話、特に大きな声を出すことや歌うことを避けていただく。
 - ・さらに、「3つの密」がより濃厚な形で重なる夜の街において、
- ①夜間から早朝にかけて営業しているバー、ナイトクラブなど、接客を伴う飲食店業への出入りを控えること。
 - ②カラオケ・ライブハウスへの出入りを控えること。
- ・ジム、卓球など呼気が激しくなる室内運動の場面で集団感染が生じていることを踏まえた対応をしていただくこと。

・こうした場所では接触感染等のリスクも高いため、「密」の状況が一つでもある場合には普段以上に手洗いや咳エチケットをはじめとした基本的な感染症対策の徹底にも留意すること。

1.地域区分についてから、(2) 地域区分の考え方について (抜粋)

中略

①「感染拡大警戒地域」より (抜粋)

(想定される対応)

○オーバーシュート(爆発的患者急増)を生じさせないよう最大限取り組んでいく観点から、「3つの密」を避けるための取組(行動変容)を、より強く徹底していただく必要がある。

○例えば、自治体首長からの以下のような行動制限メッセージ等を発信するとともに、市民がそれを守るとともに、市民相互に啓発しあうことなどが期待される。

- ・期間を明確にした外出自粛要請、
- ・地域レベルであっても、10名以上が集まる集会・イベントへの参加を避けること、
- ・家族以外の多人数での会食などは行わないこと、
- ・具体的に集団感染が生じた事例を踏まえた、注意喚起の徹底。

3.地域の医療提供体制の確保についてから、(2) 病院、施設における注意事項

○大分県、東京都、千葉県などで数十名から100名近い病院内・施設内感染が判明した。一般に、病院内感染、施設内感染における感染ルートは、①医療従事者、福祉施設従事者からの感染、②面会者からの感染、③患者、利用者からの感染が考えられる。

○このうち、医療従事者、福祉施設従事者等に感染が生じた場合には、抵抗力の弱い患者、高齢者等が多数感染し、場合によっては死亡につながりかねない極めて重大な問題となる。こうした点を、関係者一人一人が強く自覚し、「3つの条件が同時に重なる場」を避けるといった感染リスクを減らす努力をする、院内での感染リスクに備える、日々の体調を把握して少しでも調子が悪ければ自宅待機する、症状がなくても患者や利用者とは必ずマスクを着用するなどの対策に万全を期すべきである。特に感染が疑われる医療、福祉施設従事者等については、迅速にPCR検査等を行えるようにしていく必要がある。

○また、面会者からの感染を防ぐために、この時期、面会は一時的に中止とすることなど検討すべきである。さらに、患者、利用者からの感染を防ぐため、感染が流行している地域においては、福祉施設での通所サービスなどの一時利用を制限(中止)する、入院患者、利用者の外出、外泊を制限(中止)する等の対応を検討すべきである。以下省略

※1「3つの密」

これまで感染が確認された場に共通する「①換気の悪い密閉空間、②人が密集している、③近距離での会話や発声が行われる」という3つの条件が同時に重なった場のこと。